

公立・公的病院の具体的対応方針の再検証に係る
対応について【中濃圏域】

1 具体的対応方針の再検証が必要とされた公立・公的病院について

◆概要

- ・厚生労働省における分析の結果、一定の基準に合致した公立・公的医療機関等の具体的対応方針が、真に地域医療構想の実現に沿ったものとなっているか再検討を行うこととなった。（令和2年1月17日付けで厚生労働省から都道府県に対して再検証要請通知）
- ・県内では、以下の9病院が該当。

	病院名	二次医療圏	所在地	該当項目
1	岐北厚生病院	岐阜	山県市	隣接
2	羽島市民病院	岐阜	羽島市	隣接
3	西美濃厚生病院	西濃	養老町	隣接
4	国保白鳥病院	中濃	郡上市	実績
5	坂下病院	東濃	中津川市	実績
6	多治見市民病院	東濃	多治見市	隣接
7	東濃厚生病院	東濃	瑞浪市	隣接
8	市立恵那病院	東濃	恵那市	隣接
9	飛騨市民病院	飛騨	飛騨市	実績

【該当項目】

実績：診療実績※1が特に少ない。

※1 がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修派遣機能の9領域全ての診療実績

隣接：構想区域内に、一定数以上の診療実績※2を有する医療機関が2つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接※3している。

※2 がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期の6領域全ての診療実績

※3 自動車での移動時間が20分以内の距離

【再編統合】

「再編統合」には、ダウンサイジング、機能の分化・連携、集約化、機能転換・連携等も含まれる。

2 国の再検証要請への対応について

【診療実績が特に少ない病院】

①～③について医療機関で検討の上、その結果を各圏域地域医療構想等調整会議で協議。

- ①2025年を見据えた自医療機関の役割の整理
- ②分析対象領域（9領域※₁）ごとの医療機能の方向性（機能縮小等）
- ③4機能別の病床の変動

【「類似かつ近接」病院】

左記①～③に加え、④についても協議を実施。

- ④圏域全体の、6領域※₂ごとの医療機関の役割分担の方向性等2025年の医療提供体制



国保白鳥病院の検討結果は次ページのとおり



中濃圏域 該当なし ※₃

※₁ 9領域：がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修派遣機能

※₂ 6領域：がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期

※₃ 再検証対象病院以外の公立・公的病院（以下、「公立・公的病院」という。）における上記①及び③について、参考資料1-1にて整理。

また、中濃圏域では「類似かつ近接」に該当する病院がないため、公立・公的病院における上記④についての協議を求められていないが、参考資料1-2にて整理。

3 国保白鳥病院における検証結果について

①2025年を見据えた自医療機関の役割の整理

- ・地域の現状を考慮し、急性期機能の一部を担う必要はあるが、ポストアキュート、サブアキュートを支え在宅へのつなぎ、あるいは在宅支援のための入院機能を持ちながら、外来・在宅を中心とした医療を展開し、保健介護との連携も継続しながら、市民の健康づくりを支援していく。
- ・県北西部地域のへき地医療を安定的に支えるためにその基盤強化と連携の充実を図る。

②分析対象領域（9領域）ごとの医療機能の方向性

- ・厚労省分析領域における現状及び今後の見込みは以下のとおり。

領域	現 状	今後の見込み、予定
がん	・本領域に関して厚労省が示した内容に関しては他院へ紹介	・今後も同様の対応予定
心筋梗塞等の 心血管疾患	・同上	・同上
脳卒中	・同上	・同上
救急医療	・救急については、年間約2,500人（うち、救急搬送140人）の患者あり（R1年度実績）	・サブアキュートとしての救急、当院かかりつけ患者の救急は必要であり現状これらが大半を占めることから当面の間は現状を維持。連携については今後必要に応じて検討していく
小児医療	・本領域に関して厚労省が示した内容に関しては他院へ紹介（一般的な小児医療には対応）	・今後も同様の対応予定
周産期医療	・本領域に関して厚労省が示した内容に関しては他院へ紹介	・同上
災害	・災害拠点病院は未指定	・同上
へき地	・へき地医療拠点病院は未指定だが、周辺診療所へ年587回医師出向（R元年度実績）	・指定要件は十分満たしているが、指定申請に関しては連携を組む高山市、白川村と必要に応じて検討していく
研修派遣機能	・基幹型臨床研修病院は未指定だが、協力型医療機関として地域医療研修を受け入れ	・今後も同様の対応予定

③4 機能別の病床の変動

- ・令和2年4月より病床のダウンサイジング（60床から46床）及び急性期から回復期への転換（急性期病床のうち46床を回復期へ転換）を実施済み。（これにより、高度急性期、急性期は0に）
- ・急性期：60床 → 0床 （▲60）
- ・回復期：0床 → 46床 （+46）
- 計：60床 → 46床 （▲14）